

重点・再検討事業評価シート

施策No	施策名称	事業		成果指標達成率	担当課	総合振興計画進行管理本部会議の意見			市民評価	
		項目	No			事業名	検討内容	本部会議意見への対応状況	市民意見	市民意見への対応状況
1-1-1	安心して子育てできる切れ目がない支援	重点	6	こども家庭センター運営事業	※事業開始はR6から	こども相談課	①妥当である		達成率から見ると問題ないと思います。 子ども家庭センターの設置には十分な評価ができます。今後の運営に期待いたします。	— —
									出生数は出生候補世帯の在住数と関係し、ひいてはその世帯の転出数とも関係すると考察する。転出者数は微増傾向にあると認識しているが、転出者へのアンケートをとるなどで転出動機を把握して直接的に手を打つなどは検討できないか。 達成率を見る限り順調な印象です。	令和6年度は、転出または転入の手続に来庁した市民に対し、転出者・転入者へのアンケートを実施しました。今後は、アンケート結果を分析し、転出者数を減少させるための効果的な施策を検討してまいります。 —
1-1-2	幼児教育・保育の充実	重点	15	特定教育・保育施設等運営費補助金	100.0%	保育課	②検討を要する	成果指標の最終目標値100%を達成しているにもかかわらず、「さらなる支援の拡充を図る」ことの意味が理解できない。	目標を達成しているように見えますが、保育の充実と同程度に園児数が減少していることも要因と思われ、一方、児童クラブ入室児童数は増加しています。今後の人口拡充を考えるならば事業の充実と目標設定を上げる見通しもつけておく必要がないでしょうか。【第2象限】 補助メニューを拡充する旨、総合評価等に追記しました。 何に使われたなどではなく、補助金が使われた=100%達成という評価が意味があるのか?と思いました。 目標達成率100%を超えているのに実際の施策として不足があるというのは、目標の設定を誤っていると感じる。施策の必要性評価と並行して、目標の再定義も考えてみたらどうか。 事業成果指標は、実施施設の割合だけでなく、子育て世帯の利用率などで測れないでしょうか(ニーズと利用実績を取るのは大変だと思いますが…)	いただきましたご意見は今後に生かすとともに、令和7年度の中間見直しに向けて、検討を行います。 補助金が使われたというわけではなく、延長保育を実施している保育所の割合が100%となります。 令和7年度の中間見直しに向けて、検討を行います。 事業成果指標として掲げた「延長保育事業」のみならず、施設が行う地域子ども・子育て支援事業等に対し、さらなる支援メニューの拡充を図っていきます。
1-2-1	「生きる力」を育む学校づくりの推進	重点	24	英語指導助手招致事業	(小学) 146.1% (中学) 148.1%	指導課	②検討を要する	目標値の設定が低いのか、事業が過剰に推進されているのか精査をお願いします。	世間一般で仄聞することですが、ALTの待遇がどうなっているか気になります。 ALTを招いての授業は素晴らしいと思うのですが、目標値が30%~40%と低いのはどうしてでしょうか?実際の現場での活用が現実的でないのでしょうか? 指標が授業数の割合となっているが、実際にそれが子どもの学力向上に寄与したかが評価されていないように見える。目的ではなく手段に焦点が当たっている典型的ではないか。ここで目指した学校をつくれた先には、何があると見ているかの審議が必要ではないか。 ALTの成果が上がっているように達成率を見ても理解できます。今後も簡単な会話が話せるようになると英語に対する楽しさがわかるように思われます。 達成率が既に100を超えていたため、目標値自体見直しても良いのではないかと思いました。 生徒の満足度やスピーチング・リスニング能力は上がっているのでしょうか。	ALTの派遣会社と春日部市で契約を結んでいるため、直接的な管理は派遣会社がおこなっております。派遣会社はALTの日本での生活面のサポートもしています。 授業の進度や、テスト期間など、ALTを活用しにくい授業もあるため、配慮したものです。実際の数値は想定を超えたため、今後目標値の検討が必要と考えております。 まずはALTとふれあい、外国人や外国語へ親しむことを目指したため、ALTを活用した授業数の割合を指標としたところです。 — 目標値の見直しについては検討が必要と考えております。生徒の満足度を示す指標はございませんが、ALTとの授業を終えた子どもたちはとても豊かな表情をしています。能力については、スコア型テストにおいて中学校2年生のスピーチングが全国の平均を上回り一定の成果が見られています。

重点・再検討事業評価シート

施策No	施策名称	事業			担当課	総合振興計画進行管理本部会議の意見			市民評価	
		項目	No	事業名		成果指標達成率	方向性	検討内容	本部会議意見への対応状況	市民意見
1-2-2	一人ひとりを大切にした教育の推進	重点	26	教育相談センター運営事業	131.1% 指導課	②検討を要する	実施計画の見直しに向けて、適切な成果指標を検討します。	<p>特に中学校の不登校比率が高いのが気になります。相談割合の指標も低いのではないか（資料5の成果指標のNo.2の2つ目は（中学）でしょうか）。「こころのサポート推進事業」等のテコ入れを要するでしょうか。【第2象限】</p> <p>とても活用されているので、周知もできているのだと感じました。</p> <p>不登校児童増加は大変な問題であると認識いたします。</p> <p>いじめ問題の解消率に課題があるように見受けられるが、春日部市いじめ問題対策連絡協議会にそれが下りてきているように見えない。適切な連携をとって議論される必要性を感じる。</p> <p>また、不登校の比率が指標となっていることから、不登校数を減らすことが目的と読み取れるが、不登校を悪とだけ捉えるのではなく、不登校者への選択肢の提供も必要と思われる。つまり、必ずしも登校再開だけが解決策ではないと考える。したがって指標となるべきは、いわば「不登校者本人の課題感が解消していない数」などを扱うべきではないか。</p> <p>児童生徒の自己肯定感が上がっているのは何よりです。</p> <p>教育相談センター以外の相談窓口（スクールカウンセラーなど）はどういったものがあるのでしょうか。</p> <p>不登校、いじめ問題について、関係機関に対して、相談後の結果報告をおこなってほしい。</p> <p>児童相談所を春日部市に設置してほしい。</p> <p>一人一人に目を向けた教育や指導をする必要がある。</p> <p>小学校からいじめがあった場合、中学校での不登校につながる可能性があるため、早期から対応する必要があると考える。</p> <p>市と連携している協議会や組織との連携を見えやすくし、相談や対応、面談、分析等の結果を整理したうえで共有することができる体制の強化が必要と考える。</p> <p>不登校解消だけが結果ではなく様々な情報を整理した上で、評価基準の見直しをすべきであると考える。</p>	<p>中学校に限らず、不登校児童生徒が増加していることについては、最重要課題であるととらえております。相談回数が想定を超過したことは、相談事業の認知が高まり、支援体制の充実が図れたととらえておりますが、数値の設定については、適切な指標について検討してまいります。</p> <p>いじめ問題対策連絡協議会においては、関係各課、各団体のいじめ対策の取組を共有しているところです。いじめの実態把握は学校がおこなっていますが、学校が把握できないようないじめ問題があつた場合、この協議会の委員相互の連携が図れるような体制を整えております。</p> <p>不登校児童生徒への支援は「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的にとらえ、社会的な自立を目指す必要があります。その上で、学校教育の役割としましては、学業の遅れや進路選択上の不利益が生じないように、個々の児童生徒に応じた、丁寧な支援をしていくことが重要であると考え、「不登校の比率」を1つの指標としているところです。</p> <p>学校内での相談対応として、小学校・義務教育学校前期課程は、月1回、中学校・義務教育学校後期課程は、月2回～4回、スクールカウンセラーが配置されています。</p> <p>また、中学校・義務教育学校には、さわやか相談室を設置して生徒・保護者、学区内の小学校の保護者を対象に相談できる体制を整えています。さわやか相談室には、さわやか相談員と地域教育相談員を配置しています。</p> <p>学校外の相談機関としては、指導相談所、医療機関、民間のフリースクールなどが挙げられます。</p>	
										いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。

重点・再検討事業評価シート

施策No	施策名称	事業		担当課	総合振興計画進行管理本部会議の意見			市民評価		
		項目	No		事業名	成果指標達成率	方向性	検討内容	本部会議意見への対応状況	市民意見
1-3-1 青少年の心豊かで健全な育みの推進	再検討	37	放課後子ども教室推進事業	80.4% 子ども育成課	①妥当である				放課後子ども教室と放課後児童クラブの関係はどうでしょうか。 「新・放課後子ども総合プラン」（第2期春日部市子ども・子育て支援事業計画）があるようですが、それも踏まえて目標設定・評価する必要がありませんか。【第1象限】	目標設定・評価については、事業実績や各計画などを踏まえ、検討してまいります。
									親目線では、登録児童という感覚はなく「面白そうな企画があるときに参加を考えてみる枠組み」としか捉えていなかった。企画の前に目的や趣旨の啓蒙や、参加しやすい環境づくりから始める必要があるのではないか。例えば、参加することで通常の下校ができずにお迎えが必要になるというだけで、参加のハードルは相当上がる。	登録児童とは参加児童であり、体験活動や交流活動に多くの児童が参加してもらうことで、心豊かで健やかな環境を推進するものです。また、事業が主に放課後を対象としており、児童の安全を考慮するとお迎えは必要となるものです。参加しやすい環境づくりについては検討して参ります。
									新たな体験活動の実施に至らなかった背景には何があるのでしょうか（予算？人手？）	本事業は、各学校ごとに実行委員会を組織し企画・運営を行っています。この実行委員会は、地域の方や学校関係団体などの参画を得て運営されていることから、人員の確保が難しい状況であります。
									事業の目的の明確化、現場の問題点を事業担当課へフィードバックできる仕組みの構築など、体制整備が必要と考える。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
									実施主体である市の担当課が現場の状況を把握し、コーディネーターの方や協力者に対する支援を強化することで、事業の推進が図られると考える。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
	重点	41	児童育成支援拠点事業	※事業開始はR6から	子ども育成課	①妥当である			すみません、資料5の数字から読み取れませんでした。	本事業は令和6年度から実施となるため、実績値による進捗の管理は次年度以降となります。次年度以降、重点的に推進していく事業として、担当課が重点事業に設定したものです。
									ぜひ進めてほしいです！	—
									児童センターの利用状況も指標として取り入れたらどうでしょうか。また、SNSによる相談内容と結果、および施設等の利用状況の関係はどうでしょうか。	本事業は、SNSを活用した相談窓口と、学習・食事・課外活動の支援等を行うものでございますので、児童センターの利用者数等から事業の成果を測ることは困難と考えております。また、令和6年度からの新規事業であるため、まずは事業の認知度を高めていく必要があることから、相談件数を成果指標としたものです。なお、SNSによる相談は、課題を抱えるこどもたちを早期発見し、適切な支援につなげることを目的とするもので、必ずしも施設の利用に結びつくものではございません。
									すみません、資料5の数字から読み取れませんでした。	本事業は令和6年度から実施となるため、実績値による進捗の管理は次年度以降となります。次年度以降、重点的に推進していく事業として、重点事業に設定したものです。
									学校施設の活用については評価できますが、今後公共施設の利用等検討してほしい。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
									ぜひ進めてほしいです！	—
2-1-3 介護予防の推進と介護サービスの充実	重点	60	フレイルチェック事業	133.3% 介護保険課	②検討を要する	今後、事業展開を拡充していくことなので、成果指標の見直しの検討が必要と思われます。	実施計画の見直しの際に、目標値を修正します。	目標値が年々上がっていて、良いと思います。	—	
								フレイルチェック事業は評価できます。	—	
2-4-1 健康づくりと病気予防の充実	重点	83	健康マイレージ事業	94.5% 健康課	①妥当である			・目標値の見直しは考えていますか？ ・測定会の参加者数、市内の高齢者のうち参加者の割合も知りたいです。	令和6年度から事業を拡大し、市内各圏域での事業展開を目指すとともに、実施計画改定時に目標値の上方修正を行います。 令和5年度フレイルチェック測定会参加者数：112人…① 令和5年度末65歳以上人口：72,120人…② 市内の高齢者のうち測定会参加者の割合 $(①/②) \times 100$ = 0.2%	
								特段の意見なし	—	

重点・再検討事業評価シート

施策No	施策名称	事業		成果指標達成率	担当課	総合振興計画進行管理本部会議の意見			市民評価		
		項目	No			事業名	方向性	検討内容	本部会議意見への対応状況	市民意見	市民意見への対応状況
2-4-2	適正な健康保険事業の推進	重点	86	特定健康診査等事業	100.0% 国民健康保険課	①妥当である				実施医療機関の数が上昇していくのは無理があるのでないかなと思いました。まだまだ実施機関が少ないのであれば目指すべきなのはですかね。（市内〇のうち〇実施などの数値表示があるとわかりやすいです）	過去の特定健診実施医療機関の増加数等を参考に、目標値を設定しております。現在、春日都市医師会に登録のある医療機関116カ所のうち、68カ所で特定健診を実施していますが、新規開設の医療機関などが新たに特定健診を実施する事等で、実施医療機関数は増加していくと見込んでおります。実施医療機関が増加することで、特定健診受診者の受付可能人数が増加するため、実施率の増加にも繋がる見込です。
										病気は早期発見、早期治療 今後の事業の取組について	生活習慣病等を起因とする病気の早期発見のために、多くの方に特定健診を受診していただけるよう尽力して参ります。また、特定健診の結果において、生活習慣の改善が必要と見なされた方に対して実施している特定保健指導の受診率向上にも力を入れて参りたいと思います。
										引き続きご検討お願いします。	—
2-4-4	市立医療センターの基幹機能の充実	重点	91	春日都市病院事業	110.3% 経営財務課	①妥当である				総体的に取り組み評価ができます。	—
										・受入を断らざるを得なかったケースはありましたか ・受け入れ件数が多いことを評価していいものか、成果指標の立て方が難しいですね…。	・医師が手術中であったり、他の患者の対応を行っている場合など、やむを得ず受入をお断りするケースもありますが、可能な限り多くの患者を受入できるよう、関係機関と連携を図り受入体制の充実に努めています。 ・救急搬送の要請件数も増加傾向にあることから、要請に対する救急患者の受入件数（収容件数）を経年で把握し、受入体制の強化に向けた検証データの1つとして、救急医療における主要な指標として設定しているものです。
3-1-1	市民参加と協働の推進	重点	新規	地区センター運営事業	※事業開始はR6 から	市民参加推進課	①妥当である			新型コロナ感染症の影響で市民のコミュニティが希薄になったことを一日も早く取り戻すため、今後の一層の活動が必要であると考えます。一定の評価はできる。 順調な印象なのでもっとアグレッシブな目標を設定しても良いのではないかと思いました。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
3-2-1	人権を尊重するまちづくりの推進	重点	98	人権事務（人権啓発等）	107.1% 人権共生課	①妥当である				人権問題の推進については評価できます。 R6年度以降の目標値は変えないのでしょうか。	— 令和6年度の実績を元に、今後の目標値を検討してまいります。
3-2-2	男女共同参画の推進	重点	100	男女共同参画推進センター運営事業	125.0% 人権共生課	①妥当である				「第3次男女共同事業基本計画」の早期達成を期待する。 新規利用者数を事業成果指標に設定しても良いのではないかと思いました。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。 参加者情報のシステム管理はしておらず新規利用者ののみの把握は困難となっております。
		重点	101	男女共同参画推進事業	100.0% 人権共生課	①妥当である				順調な印象なのでもっとアグレッシブな目標を設定しても良いのではないかと思いました。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
3-4-2	郷土の歴史と文化遺産の保存と活用	重点	111	文化財保護事業	120.0% 文化財課	①妥当である				R6年度以降の目標値は変えないのでしょうか。	現状では、変更の予定はございません。
		重点	112	史跡神明貝塚保存活用事業	118.2% 文化財課	①妥当である				R6年度以降の目標値は変えないのでしょうか。	現状では、変更の予定はございません。
		重点	114	郷土資料館運営事業	100.8% 文化財課	①妥当である				市民の認知度などもぜひ測ってほしいです。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
3-5-1	スポーツ・レクリエーション活動の推進	重点	115	体育総務事務	100.0% スポーツ推進課	①妥当である				特段の意見なし	全国から数千人規模のランナーが集まる当該事業においては、多くの市民ボランティアスタッフの協力のもとで開催しております。より良い大会運営に向けては一人でも多くのボランティアスタッフの参加が不可欠となっています。このような中、市民ボランティアスタッフの人数が増加することは、市民のスポーツを通じたボランティア意識の高揚が図られるとともに、ランナーサービスの量・質の向上、ひいては参加ランナーの満足度向上に繋がるものと考えております。そのため、当該事業が紐付けられた施策3-5-1の成果指標である「スポーツ教室やイベントの満足度」の向上に繋げられるよう、ボランティアを含むスタッフの人数を事業の成果指標として設定したものです。
		重点	116	大凧マラソン大会実施事業	93.1% スポーツ推進課	①妥当である				スタッフの人数が評価指標であることの意味が分かりませんでした	

重点・再検討事業評価シート

施策No	施策名称	事業		担当課	総合振興計画進行管理本部会議の意見			市民評価			
		項目	No		事業名	成果指標達成率	方向性	検討内容	本部会議意見への対応状況	市民意見	市民意見への対応状況
4-1-1	環境にやさしい持続可能な取組の推進	重点	118	再生可能エネルギー推進事業	109.0%	環境政策課	①妥当である			ゼロカーボンシティ宣言もしているので、具体的は排出量削減にどの程度寄与しているかという指標がないといけないと思います。（これは「省エネ家電買替促進補助金」ですか？）。第2次環境基本計画後期の目標に対してはどうでしょうか？	再生可能エネルギー推進事業の予算は、家庭用環境配慮型設備設置奨励事業で90%以上を占めています。太陽光パネルや蓄電池を設置した方へ市内共通商品券を交付するもので、この奨励事業により設置された太陽光発電設備で、年間3,639tの二酸化炭素削減に寄与しています。これは、本市の家庭部門の約1.5%を占めるものです。なお、第2次環境基本計画では市域全体の削減目標を掲げており、直近（R3）のデータでは883.5千t-CO2であり、基準年度（H25）比で18.5%削減という状況で、短期目標（R9）である38%削減にはまだ届かない状況です。
										環境問題等の取り組みは評価できる。	—
										もっと市報などで周知してほしいです。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
		重点	123	環境美化推進事業（環境美化活動）	100.0%	リサイクル推進課	①妥当である			市としてはエコアクション21認証やSDGs未来都市といった大きな活動があるので、その枠組みでもっと評価できる指標があるので？それからこの項ではないですが、河川水BODの適合率が悪い点はどのように評価していますか？	本事業は市民の環境美化意識の向上を目的としているため、市民に対して最も発信力のある市広報紙を中心とした媒体への掲載件数を事業の成果指標としたものです。また、BOD75%値は公共水域の評価に用いられている指標ですが、古利根川・中川に流入する前的小規模河川において冬期に水質低下が見られたため、このような結果となりました。河川水質は長期的に評価することが重要であると考えており、30年前と比較すると着実に改善が進みつつあります。詳しいデータ、解説は「春日部市の環境令和5年環境白書」(https://www.city.kasukabe.lg.jp/soshikikarasagasu/kankyoiseisaku/gyomuannai/2/3/3851.html)」P13~19を是非ご覧ください。
										市広報紙への掲載件数！？重点であるなら、他に何か基準はないものでしょうか？	本事業は市民の環境美化意識の向上を目的としているため、市民に対して最も発信力のある市広報紙を中心とした媒体への掲載件数を事業の成果指標としたものです。
										指標となるべきは啓発の回数ではなく事業への参加人数であるべきではないか。	本事業は市民の環境美化意識の向上を目的としているため、特定の事業への参加人数よりも、市民に対して最も発信力のある市広報紙を中心とした媒体への掲載件数を事業の成果指標としたものです。
										市民の認知度などもぜひ測ってほしいです。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
		地域の強靭化と防災力の向上	重点	129	防災体制強化事業	88.2%	危機管理防災課	①妥当である		個人的には、防災を学んだ防災士が在籍するのはとてもいいですが、ひとりだけの知識や意欲ではどうにもならないので、訓練内容や日々の交流に目を向けることが防災体制の強化だと思います。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										防災意識の向上に向けた活動は十分評価できる。	
										在籍人数を語る前にそもそも人数不足の解消が必要で、防災士とはの周知から、育成とその支援に取り組んでいかないと人数の増加が果たせないと想われる。例えば、組織数全体を分母として防災士人数を分子としてそれが100%になることを、まずは目標にするとか。	
										防災士資格を取るための補助などは検討されていますか。	
4-2-2	消防・救急・救助体制の充実・強化	重点	133	消防施設耐震対策事業	100.0%	消防本部総務課	①妥当である			引き続きご検討お願いします。	—

重点・再検討事業評価シート

施策No	施策名称	事業		担当課	総合振興計画進行管理本部会議の意見			市民評価			
		項目	No		事業名	成果指標達成率	方向性	検討内容	本部会議意見への対応状況	市民意見	市民意見への対応状況
5-1-1	観光資源の魅力向上と来訪者の滞在環境の充実	重点	145	大凧啓発推進事業	76.5% 観光振興課	①妥当である				大凧としんちゃん以外に、外郭放水路や牛島の藤も観光資源といえるでしょうか。東武沿線にはホテルが少ないので、近隣の観光資源も視野に入れた観光プラットフォームのようなやりかたはどうでしょう。【第3象限】 (内容でないですが、5-1-1のグラフは100%のものが入っているので見にくいです。例えば軸に切れ目を入れたり、200%までの目盛りにして、1000%のマークには上矢印と数値を添えるようなやりかたができます)。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										分野としては、大凧は郷土の文化的位置づけかな、とも思います。	次期総合振興計画策定に向けて、参考とさせていただきます。
										それこそ大凧とクレヨンしんちゃんを連携させた事業を企画するなどは考えられないだろうか。クレヨンしんちゃんはもはや世界的なコンテンツであり、春日部市としてそれを活かさない手はない強く感じる。他市にはない圧倒的な強みである。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										啓発活動で特に対象としている層はありますか。それによって企画自体見直せると良いのかなと思いました。	啓発活動としては、特定の層を対象としておりませんが、実績として小学生を対象に凧作り教室を実施し啓発をおこなっています。いっぽう、令和6年8月にオープンした大凧文化交流センター「ハルカイト」では、大凧文化等の展示を行う観光施設として、主に小学生をターゲットにした、学芸員によるミュージアムトークなどの企画の検討や課外授業等の受け入れに取り組んでいます。
5-1-2	身近で活気あふれる商業環境の充実	再検討	149	商工会議所補助金	45.4% 商工振興課	①妥当である				目標人数設定に無理があるような気もします、 ただ、イベント内容の充実、魅力アップ、広報の努力は必須です。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										更なるイベントの推進が必要である。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
		再検討	151	旧商工振興センター跡地活用事業	55.7% 商工振興課	①妥当である				音楽の街として押し出していくことは、世代を超えた文化的活動が行えるという点で、とても良いと感じている。春日部共栄をはじめ吹奏楽が強い学校も多くあり、それらを軸とした行事を行うことで音楽文化の底上げを狙うことも良さそう。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										コロナ禍以前の参加者数と比べるとどうなのでしょうか。	令和5年度のイベント来場者数13,170人に対し、平成30年度が26,565人、令和元年度は26,400人であったことから、コロナ禍以前と比較すると、イベント規模の縮小などもあり減少しております。今後、イベントの開催方法を関係団体と協議・連携しながら、来場者数の増加に努めてまいります。
		再検討	152	かすかベンチャー応援補助金	100.0% 商工振興課	①妥当である				新施設までどのような誘導を行うか具体的な方策がわかりません。駅前からぶらっとかすかべを経由する動線にはめぼしい商店はありません。途中にぶらっと広場という場所があるのですが活用できるのでしょうか。東口を大きく見て考える必要がないですか。	春日部駅東口から複合施設までの動線などについては、重要な検討事項と考えております。今後、周辺のまちなみ公園やぶらっと広場などの施設との機能連携などを考慮しながら具体的な検討を進めてまいります。また、春日部駅付近連続立体交差事業の進捗状況を注視し、駅東口全体の視点を持って取り組んでまいります。
										跡地が実際に活用されるまでのこの数値は必要でしょうか？	施策の成果との連動性が高まるよう、成果指標について見直しを検討してまいります。
		重点	153	かすかベンチャー応援補助金	100.0% 商工振興課	①妥当である				無理に通行者数を測らなくても、施設ができるからの利用者数などを設定するので良いのではないかと思いました。	中心市街地における活気、まちのにぎわいなど、商業環境を測る指標として歩行者等の通行者数を成果指標として設定したものです。複合施設は民間の商業施設や国の施設が入ることとなっておりますが、利用者数の把握方法等については課題もあることから、利用者数を成果指標として設定することは難しいものと考えております。

重点・再検討事業評価シート

施策No	施策名称	事業		成果指標達成率	担当課	総合振興計画進行管理本部会議の意見			市民評価	
		項目	No			検討内容	本部会議意見への対応状況	市民意見	市民意見への対応状況	
5-2-1	企業誘致や創業支援の推進と就労支援の充実	重点	153	新産業創出支援事業	104.0% 商工振興課	①妥当である		特に問題ないと思います。皆様、市内で起業されているのでしょうか?だとしたら、「春日部市内で起業した~」と文言に入れてもいいかもしれません。	成果指標の実績値は市外で起業された件数を含めたものですが、市内で起業された件数を再掲するなどの表記方法について検討してまいります。	
		重点	154	企業誘致推進事業	101.0% 商工振興課	②検討を要する	令和8年4月1日の指定解除に向けた目標を確認したい。	R6年度以降の目標値は変えないのでしょうか。	令和5年度は実績値が目標値を1件上回っていますが、現時点では、令和6年度以降の計画期間について、目標値の変更は考えておりません。	
5-4-2	魅力ある農産物の生産と消費拡大	再検討	167	農産物紹介事業	33.3% 農業振興課	②検討を要する	事業のPRを行うとともに、新規で開業・開店した事業者にも積極的に声掛けを行い、制度活用者を獲得していく。また、水田収益力強化事業の実証実験終了後は、米粉の無償提供に対するニーズを本事業で満たしていきます。(水田収益力強化事業による提供は27事業者に対し実施)	商工センター跡地事業や道の駅とリンクして展開させることはできませんか。サンプル提供だけでなく主体的な広報が必要かと思います。環境側面からも地産地消の推進も。	適用地域では70社を超える企業に立地いただいております。また、商業施設や工場などが新設され定着されているものと認識しております、今後も企業立地に伴う市民税(法人)、固定資産税の増加などの経済効果が見込まれております。適用地域における令和7年度中の具体的な誘致目標などは設定しておりませんが、駆け込み需要を取り込み企業誘致を推進したいと考えております。	
								紹介品目数とありますが、どこで農産物を紹介することが前提でしょうか?	本事業は、市内産農産物の活用希望がある飲食事業者等に対し、市内産農産物をサンプル提供するものです。活用を希望する飲食事業者には、直接店舗に伺い、時々の提供可能品目を紹介、ヒアリングを行った上で、活用希望の農産物を市が市内の農家から直接購入し、事業者にサンプル提供を行っています。	
								最近ラジオなどで春日部産米粉の活用について触れたアンケートを耳にする。そういうときは「おっ」と思うので、少しずつでも継続的に活動し続けることに意義はあります。いちごや梨などの強みもあり、力を入れるタイミングを見誤らないようにしたいところ。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。	
								この事業が市全体の農業の活性化につながっているかが課題である。再検討の必要があると思われる。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。	
								PR方法の改善として具体的に考えられていることはありますか。	SNSなどによる広報や商業団体への周知、新規で開業・開店した事業者にも積極的に声掛けなどにより、事業PRを図ってまいります。	
								米粉生産へのシフトしていくかが課題である。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。	
								農産物のPRについて、効果的な方法を検討しつつ、「春日部といえば」という切り口で、春日部ブランドを確立してほしい。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。	
								PRした後の販売のバックアップまで検討してほしい。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。	
								事業全体としては、まずはやってみて、検討・見直しを重ねながら進めていってほしい。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。	
								春日部駅が改修されました。立地交差や駅前再開発と絡めての積極的なPRがされているようにあまり感じません。跡地利用も含め、近い将来、東西をまたいでどのような動線が可能になるかのイメージ戦略が必要かと思います。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。	
6-1-1	魅力とぎわいのある中心市街地の創出	重点	169	連続立体交差推進事業	102.8% 鉄道高架推進課	①妥当である		事業の早期達成に努めてほしい。	事業の早期達成に努めてほしい。	
								早期も大切だが、最適な結果に導かれることが最も重要。関連事業、たとえば駅前再開発など、そういったところとの同期も取れたうえで街づくりが完成されることを期待する。	早期も大切だが、最適な結果に導かれることが最も重要。関連事業、たとえば駅前再開発など、そういったところとの同期も取れたうえで街づくりが完成されることを期待する。	

重点・再検討事業評価シート

施策No	施策名称	事業		担当課	総合振興計画進行管理本部会議の意見			市民評価			
		項目	No		事業名	成果指標達成率	方向性	検討内容	本部会議意見への対応状況	市民意見	市民意見への対応状況
6-2-1	計画的な土地利用の推進	重点	179	赤沼・銚子口地区産業基盤整備事業	237.5% まちづくり推進課	①妥当である				指標について、回数以外ないのでしょうか？	本事業については、県企業局による事業化（予算化）に向け、市は農業振興地域農用地区域の除外のための農林調整を実施している状況です。産業団地や関連道路の用地取得や工事については、事業化後となるため、現時点ではそれらの目標値を表すことができないことから、事業化に向けた関係機関との協議回数を指標としています。
										現在の進捗状況 今後の年次計画	現在の進捗状況は、市において農林調整を継続して行っています。今後については、事業化の条件となる合意書の取得を市が進めてまいります。農林調整の一定の目途・合意書の100%取得が整った段階で、県企業局において事業化（予算化）され、用地の取得、造成工事の実施設計、開発行為許可申請、造成工事着手となります。事業化後、おおよそ4年程度で、産業団地が完成する見込みとなっています。また、産業団地周辺の関連道路の整備は、産業団地の完成に合わせ、市が主体となり整備してまいります。
										R6年度以降の目標値は変えないのでしょうか。	現時点で、今後のスケジュールが不透明なため、目標値を変更する予定はありません。
6-4-1	安全で利便性の高い道路網の整備	重点	192	中央通り線整備事業	98.6%	道路建設課	①妥当である			—	
		重点	194	通学路安全対策・バリアフリー化事業	111.0%	道路建設課	①妥当である			道路整備中の歩行者の安全対策を十分に行ってほしい。 大通りであっても街灯の少なさに驚くところが多くある。通り魔などの犯罪抑止にも一役買えるはずなので、まずは大通りから明るい道路の実現を図ってもらいたい。	当該事業に限らず、工事中における歩行者の安全対策については、十分留意してまいります。 いただきましたご意見については、当該事業に限らず、今後に生かしてまいります。
6-4-2	親しみのある公園の形成と緑化の推進	重点	203	子育てふれあい公園リニューアル事業	121.2%	公園緑地課	①妥当である			指標がアンケートの満足度になっていますが、意識調査のグラフでは第2象限に入っています（重要度高、満足度低）。具体的な改修予定と実施件数などの指標が必要ですか。 公園を囲む生垣の手入れがなされておらずに、公園の中が道路から見えなくなっているところも散見される（例：大沼第三公園）。閉鎖的であっては目的は果たせないとと思われ、まずはそういうところの解消から進めていただければ有難い。 R6年度以降の目標値は変えないのでしょうか。	市民に対する事業効果の説明としては、事業実施量は必ずしもわかりやすいとは言いがたいため、事業実施による市民や社会への影響度を確認する指標としたものです。
		重点	204	都市公園等整備事業	102.1%	公園緑地課	①妥当である			指標がアンケートの満足度になっていますが、意識調査のグラフでは第2象限に入っています（重要度高、満足度低）。具体的な改修予定と実施件数などの指標が必要ですか。 公園の整備も大切であるが利用者の行動にも注意してほしい。 R6年度以降の目標値は変えないのでしょうか。	市民に対する事業効果の説明としては、事業実施量は必ずしもわかりやすいとは言いがたいため、事業実施による市民や社会への影響度を確認する指標としたものです。
		重点	205	公園施設更新事業	102.1%	公園緑地課	①妥当である			指標がアンケートの満足度になっていますが、意識調査のグラフでは第2象限に入っています（重要度高、満足度低）。具体的な改修予定と実施件数などの指標が必要ですか。 子どもや年配者がケガをしないで済むという最低ラインをまず達成したうえで、次に使いやすさや子供の満足度を上げていく順序で進めさせていただきたい。 R6年度以降の目標値は変えないのでしょうか。	市民に対する事業効果の説明としては、事業実施量は必ずしもわかりやすいとは言いがたいため、事業実施による市民や社会への影響度を確認する指標としたものです。
		重点	207	下水道事業（雨水）	100.0%	河川課	①妥当である			指標がアンケートの満足度になっていますが、意識調査のグラフでは第2象限に入っています（重要度高、満足度低）。具体的な改修予定と実施件数などの指標が必要ですか。 近年、全国各地で水害が増えているので他の自治体のモデルになる事例として発信してほしいです。	市民に対する事業効果の説明としては、事業実施量は必ずしもわかりやすいとは言いがたいため、事業実施による市民や社会への影響度を確認する指標としたものです。
		重点	208	河川施設長寿命化修繕事業	100.0%	河川課	①妥当である			河川の整備は十分であるが治水事業も併せてお願いしたい。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
										いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。	

重点・再検討事業評価シート

施策No	施策名称	事業		担当課	総合振興計画進行管理本部会議の意見			市民評価			
		項目	No		事業名	成果指標達成率	方向性	検討内容	本部会議意見への対応状況	市民意見	市民意見への対応状況
7-1-3	自治体DXの推進と窓口サービスの向上	重点	220	デジタル推進事業	115.5%	行政デジタル改革課	①妥当である			手続きだけでなく、情報発信という面でもさらなる強化を図っていっていただきたい。市長のX発信はその一つとしてとても良いが、市長以外の活動ももっと身近に感じられるような取り組みなどが増やしていけると良い。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
		重点	225	証明書等コンビニ交付事業	182.6%	市民課	②検討を要する	・目標を超えており、行かない窓口の実現には至っていないので、見直すタイミングでは。 ・令和7年3月31日でコンビニ手数料10円が終了するため、終了後の対応について検討をお願いします。また、今後は、DXの観点から、電子申請を推進していくため、これらを踏まえた目標値等のあり方を検討していただくようお願いいたします。	コンビニ手数料10円終了後の対応として、コンビニ交付だけでなく、各市民センターのキオスク端末による証明書等の交付の利用も含め、周知を行っていく旨、総合評価に追記しました。	交付手数料10円はインパクトがあってよいと思います。収支や人件費の観点から導入のためのインセンティブだけにならないよう検討していただければよいと思います。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。
7-2-1	安定した財政運営	重点	227	財政事務	142.9%	財政課	②検討を要する	目標値を大きく上回っており、財政運営が安定しているとの理解のもと、市民サービスのさらなる向上に予算を投入するようにとの要望が懸念される。この指標が適切なのか、目標値がこれでよいなど、検討をお願いしたい。	必要に応じて、令和7年度の中間見直しに向けた成果指標を検討します。	指標成績は大変よいですが、意識調査では大きく【第2象限】に入っています。市民にはわかりにくい内容なので漠然とした不安があるのかと思います。実質を担保するとともに見通しをわかりやすく広報することも必要かと思います。	いただきましたご意見は今後に生かしてまいります。

重点・再検討事業以外へのご意見

施策No	施策名称	事業			市民評価	
		項目	No	事業名	市民意見	市民意見への対応状況
2-4-3	地域医療提供体制の充実	—	—	—	2-4-3の地域医療などは【第1象限】で市民の関心が高いものの達成度がBで、指標として地域医療の災害対応体制の状況も必要かと思います	大規模災害時には市内5か所に医療救護所を開設することとし、実際の災害時での活動に備えて毎年度、災害時医療救護訓練を実施しており、その参加者数を訓練の充実度を測る指標としています。
3-4-1	文化・芸術の創造と振興	—	—	—	春日部市は市民文化祭のような催しはないのでしょうか？市展は美術だけですし、文化会館の指標が改修件数というのはいかがでしょうか	各地区の公民館において公民館まつりや文化祭を開催している他、文化連合会をはじめとする各種団体が発表の場を設けています。また、文化芸術の鑑賞と発表の場として、安全かつ快適に使用できる施設とするため、文化会館の整備充実を図る必要があることから、改修件数を指標としたものです。
7-1-1	自治体DXに基づく戦略的・計画的な行政運営の推進	—	—	—	7-1-1がCなのですがなぜはずされていますか？施策1が30%弱というのは説明が必要でないでしょうか。実施計画p284の指標20%に対しては充足なので、資料5の目標値が違っていますか？	7-1-1の施策成果指標1につきましては、後期基本計画施策のうち、成果指標目標値を達成した（達成度Sとなつた）施策の割合を設定しています。今年度は、達成度Sとなつた施策は16施策、28.6%にとどまったため、本施策の達成度Cはとなりました。 また7-1-1の成果指標1は総合振興計画全体の進捗を示すものであることから、個別のグループワークではなく当審議会に諮るものであり、【資料3】施策の進捗状況の本部会議評価及び市民評価が本施策に対する評価と重なるものと捉えています。 なお、実施計画p284の成果指標は、春日部市DX推進計画の進捗を測るもので、こちらの計画は総合振興計画と異なり、年度ごとの目標を設定していないため、最終目標に対して各年度の進捗を測るものとなっています。 対して総合振興計画は全ての施策に年度目標を設定しており、全ての年度においてそれらを達成することを目標としているため、各年度の目標値が100%となっています。